

赤路さん(岡山大大学院)ら仁科賞

仁科顕彰会(会長・伊原木隆太知事)は8日、優秀な研究成果を上げた県内の理工系大学院修士課程に贈る「仁科賞」の2016年度受賞者4人を発表

した。授与式は15日に県庁で行う。岡山大学院環境生命科学研究科博士後期課程(環境科学専攻)の赤路康朗さん(28)▽同大学院自然科学研究科博士前期課程(分子科学専攻)の藤井未侑

さん(24)▽岡山理科大学大学院理学研究科博士課程(材質理学専攻)の安井望さん(30)▽県立大大大学院情報系工学研究科博士後期課程(システム工学専攻)の服部憲治さん(42)

の4人。赤路さんはブナの実生がどの環境で枯死するかを調べ、樹齢によって生育の適地が異なることを解明。藤井さんは環境によって異なる色を見せる蛍光色素を開発した。安井さんはダイヤモンドの90%の硬さの新物質を合成

することに成功。服部さんはキーボードのタイピングに合わせ、CGキャラクターを自動的に動かすシステムを作った。受賞者には賞状や賞金10万円が贈られる。仁科賞は里庄町出身の物理学者、仁科芳雄博士(1890〜1951年)を顕彰する同会が66年度に創設。受賞者は今回で134人となった。

(水嶋佑香)



赤路康朗さん



藤井未侑さん



安井望さん



服部憲治さん